

# クリックアシスト v2.1 ヘルプ



「クリックアシスト」は、  
マウスポインターを動かすだけで  
クリックやドラッグを可能にする  
マウス操作支援ソフトウェアです。

## 目次

■ 1. 新機能 (v2.0/v2.1) .....	2
■ 2. 無料版と有料版の違い.....	6
■ 3. 動作環境 .....	7
■ 4. ダウンロード .....	7
■ 5. インストール手順.....	8
■ 6. アンインストール手順.....	8
■ 7. 手動での起動 .....	9
■ 8. 終了.....	9
■ 9. 設定.....	9
■ 10. 自動起動設定.....	10
■ 11. ライセンスのご購入.....	11
■ 12. 有料版登録 (ライセンス番号の登録) .....	13
■ 13. 基本操作方法.....	18
■ 14. 各アイコンの動作について.....	19
■ 15. サブパネルモード .....	20
■ 16. マウス位置リセット機能 (Zono 用) .....	23
■ 17. かな50音配列オンスクリーンキーボード .....	25
■ 18. 設定ダイアログ.....	32
■ 19. 注意事項.....	40
■ 20. ソフトウェアの更新履歴 .....	47

このヘルプの内容は随時更新されることがあります。

最新版は弊社ホームページをご参照下さい。

<http://www.ttools.co.jp/>

## ■ 1. 新機能 (v2.0/v2.1)

つぎのような便利な機能が追加されました。また、いくつかの不具合修正もされています。

新機能 1	サブパネル機能
新機能 2	パネル配色選択
新機能 3	マウス位置リセット機能 (Zono 用)
新機能 4	かな 50 音配列オンスクリーンキーボード (※v2.1)
その他	10分お試し機能、簡単設定 (※v2.1)、その他不具合修正

### 新機能 1：サブパネル機能

サブパネル機能を利用するとクリックしたい位置に移動してから、クリック動作を選択することができます。従来のクリック操作を決めてからクリックしたい位置に移動するよりも、より直観的に操作をすることができます。

選択できるクリック動作は、「左クリック」「右クリック」「左ダブルクリック」「ドラッグ」です。一定時間サブパネルのアイコンを選択しないことで「クリック動作をしない」という選択もできます。詳細は「[15. サブパネルモード](#)」の項目をご参照ください。

1. サブパネルモードに変更します。

2. クリックしたい場所に移動して待機します。

3. 待機時間が経過したら、サブパネルが表示されます。  
(「♪ポッ」と音が鳴ります)

4. アイコンを選択します。  
(例：右クリック)

5. クリックマーカーの場所で自動クリックします。  
(「♪カチッ」と音が鳴ります)

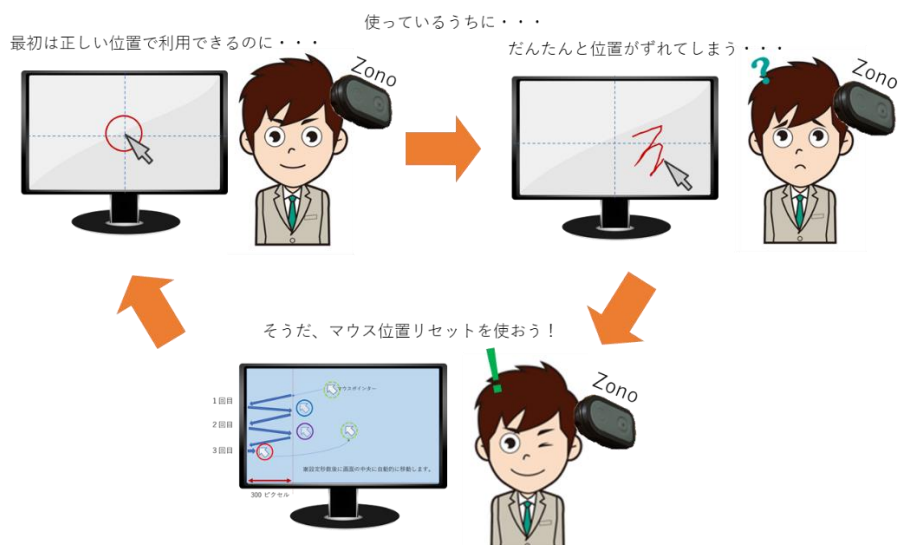
## 新機能2：パネル配色選択

パネルの配色を配色リストから、ご自身の気分や季節に合わせて、パネルの配色を選択することができます。詳細は「[18. 設定ダイアログ](#)」の中の「パネル表示」の中の「配色」の項目をご参照ください。

標準（青）	緑	黒	ピンク	スカイブルー
				

## 新機能3：マウス位置リセット機能（Zono用）

Zono を利用していると、だんだんとマウスの基準位置がずれてしまうことがあります。その場合に一定の操作をすることで、基準位置を合わせ直すための機能です。詳細は「[16. マウス位置リセット（Zono用）](#)」の項目をご参照ください。



## 新機能4：かな50音配列オンスクリーンキーボード

Windows 標準のオンスクリーンキーボードの代わりに、日本語の50音配列の「かな50音配列のオンスクリーンキーボード」を利用することができます。親しみのある50音配列なので、素早く簡単に入力することができます。詳細は「[17. かな50音配列オンスクリーンキーボード](#)」の項目をご参照ください。

かな50音配列キーボード（右から）



かな50音配列キーボード（左から）

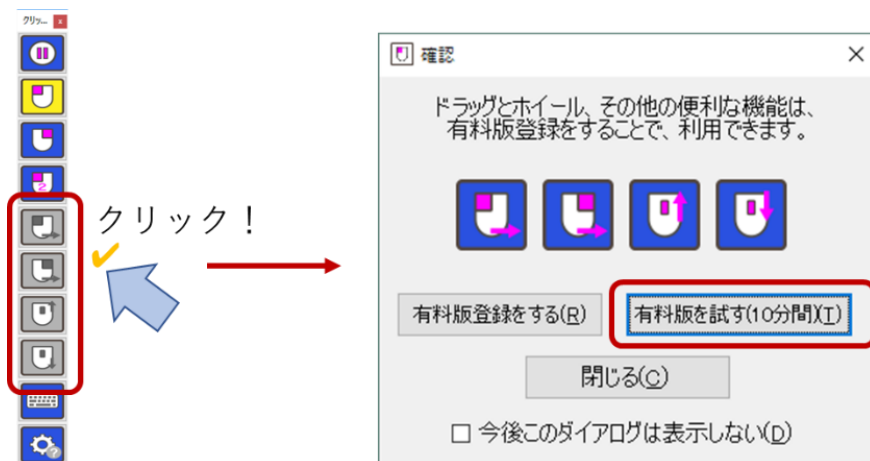


英字キーボード



## 10分お試し機能

無料版でお使いの方向けに、有料版の機能を10分間ほど、お試しいただける機能です。操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックすると、確認ダイアログが開きます。「有料版を試す(10分間)」を選択してお試しください。



### ※ご注意

無料版の状態では、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックして表示される確認ダイアログについて「今後このダイアログは表示しない」にチェックを入れると、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックしても何も反応しなくなります。再びこのダイアログを表示するには、設定ダイアログで「初期値に戻す」ボタンを押してOKボタンを押してください。

## その他修正事項

- 設定画面を機能ごとの「タブ表示」で整理して、設定内容を確認しやすくなりました。
- Windows 標準オンスクリーンキーボードを閉じる場合は、終了せずに最小化するようにしました。これは、Windows 再起動後にオンスクリーンキーボードが自動で表示されない問題を回避するための変更です。
- クリックまでの待機時間を0.5秒未満、および3.0以上の設定項目を追加しました。ご利用の場面に応じて柔軟に設定いただけます。(なお、0.5秒未満を設定した場合は意図しないクリックが発生することが予想されますのでご注意ください)
- V2.1 から「簡単設定」タブが追加されました。主な設定項目を簡単に設定していただくことができます。

## ■ 2. 無料版と有料版の違い

### ◆10分お試し機能

操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックするとダイアログが開きます。そして「有料版を試す（10分間）」を選択してください。（前項の「[10分お試し機能](#)」を参照）

### ◆無料版と有料版の違い

無料版は、有料版の機能のうちのいくつかの機能が利用できます。ライセンスをご購入いただき、有料版登録（ライセンス番号の登録）をいただくことで、すべての機能が利用できるようになります。ぜひライセンスのご購入をご検討ください。

マウス操作・機能		無料版	有料版
マウス操作	一時停止	○	○
	左クリック	○	○
	右クリック	○	○
	左ダブルクリック	○	○
	左ドラッグ		○
	右ドラッグ		○
	ホイール上		○
	ホイール下		○
	キーボード表示（※次の設定項目もご参照ください）	○	○
	設定（※次の設定項目もご参照ください）	○	○
	連続操作モードの切替		○
	サブパネルモードの切替		○

設定項目		無料版	有料版
マウス動作	クリックまでの待機時間の変更	○	○
	クリック待機の有効範囲の変更	○	○
	待機時間の表示の有無の変更		○
	有効範囲の表示の有無の変更		○
	マウスカーソル強調の有無の変更		○
	クリック音を鳴らす設定の変更	○	○
パネル表示	サイズの変更		○
	透明表示の変更		○
	基準位置の変更		○
	スナップ操作の有無の変更		○
	簡易表示の切り替え		○
	閉じるボタンを表示の有無の変更	○	○
	タイトルバーを表示の有無の変更	○	○
配色の変更	△(※)	○	
一時停止	一時停止中の非表示化の設定変更		○
	自動的に一時停止に変更するタイミングの設定変更		○
サブパネル	サブパネルモードの利用の有無		○
	表示時間の変更		○
	クリックマーカを表示の有無の変更		○
	透明度の変更		○
	既定のモードの変更		○
オンスクリーンキーボード	Windows 標準オンスクリーンキーボード	○	○
	かな50音配列オンスクリーンキーボード		○
その他	マウス位置リセット（Zono用）の利用の有無		○
	マウス位置リセットの判定時間の変更		○
	マウス位置リセットの判定距離の変更		○
	起動設定	○	○

(※) 無料版では配色の変更はできませんが、クリックアシストを再起動すると標準に戻ります。

### ■ 3. 動作環境

クリックアシストは下記の動作環境が必要です。

製品名	クリックアシスト
型番	TCA1N-A01
オペレーティングシステム	Windows7(SP1), Windows8.1, Windows10 (※いずれも Windows Update 等で最新の状態になっていること)
.NET 実行環境	.NET Framework 4.6 / 4.7 (※必要に応じて自動でインストールされます)
コンピュータ本体	上記 OS が推奨する環境 (※通常の利用で十分な処理能力を有する状態であること)
空き容量	50メガ以上必要
サウンドデバイス	上記 OS がサポートするサウンドデバイス (※クリック音を鳴らすために必要)
ディスプレイ・モニター	WSVGA (1024x600)以上の解像度 (※これよりも解像度が低い場合は、操作パネルや設定画面が、画面に正しく表示できない場合があります)
インターネット接続環境	プログラムのダウンロード、プログラムのインストール、ライセンス購入、ライセンス番号登録の時に必要です。
ポインティングデバイス	上記 OS がサポートするポインティングデバイス 例 ● <a href="#">[Zono] – “世界一軽い”装着型エア・マウス</a> ● <a href="#">[ジョイスティックマウス] – 指先やあごで動かすジョイスティック型のマウス</a> ● その他一般的なマウスやトラックボール

### ■ 4. ダウンロード

下記の web ページより、最新版クリックアシストをダウンロードしてください。

テクノツールホームページ：<http://www.ttools.co.jp/>

クリックアシストのページ：<http://www.ttools.co.jp/clickassist/>

(※上記の URL アドレスは、予告なく変更されることがあります)



## ■ 5. インストール手順

### ※旧バージョンの「クリックアシスト」をインストール済みの場合※

新規インストールと同様に上書きインストールできます。インストールするときに、クリックアシストを終了する必要はありませんが、インストール完了後は、すぐに Windows の再起動が必要です。画面の指示に従って、必ず再起動を行ってください。

1. ダウンロードしたインストールプログラム (ClickAssist○○○\_inst.exe) を、ダブルクリックなどをして、起動します。
2. ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら「はい」を選択します。
3. 「ようこそ」画面が表示されたら、画面の指示に従って進めてください。
4. 「完了」画面が表示されたら、完了ボタンを押してインストールを完了します。このとき、自動的にクリックアシストが起動します。  
※自動起動設定を行わない場合は「自動起動設定を行う」のチェックを「チェック無し」にしてください。この場合インストール完了後の起動は行いません。
5. Windows の再起動が必要な場合は再起動を求める画面が表示されるので、画面の指示に従って Windows を再起動してください。Windows 再起動後、クリックアシストを手動で起動してください。
6. クリックアシストの初回起動は、自動的に設定画面が表示されます。各種設定を確認して「OK」ボタンを押してください。設定はあとで変更することもできます。

## ■ 6. アンインストール手順

1. コントロールパネルの中の「プログラムのアンインストール」を開きます。  
(※Windows10 の場合は「設定」の中の「システム」の中の「アプリと機能」を開いて、アプリケーションの一覧を表示します)
2. アプリケーションの一覧から「クリックアシスト」を探して選択します。
3. 「アンインストール」ボタンを押します。
4. アンインストールを実行するか確認画面が表示されるので、本当に削除する場合だけ、「アンインストール」または「はい」のボタンを選択してください。
5. クリックアシストが起動中の場合は、アンインストールを進めた時点で自動的に終了します。(この時点でクリックアシストでの操作はできなくなります)

6. 設定ファイルを削除するか確認画面が表示されるので、本当に削除する場合だけ「はい」のボタンを選択してください。
7. 完了の画面が表示されたら「完了」ボタンを押してください。これでアンインストールが完了です。

※同一の Windows マシンに設定されている複数のユーザーアカウントでクリックアシストを利用していた場合、アンインストールを実行するユーザー以外の設定ファイルを削除することができません。その場合は各アカウントにログインして手動で設定ファイルを削除してください。設定ファイルは次の場所にあります。

(C:¥ユーザー¥[アカウント名]¥AppData¥Roaming¥ttools¥ClickAssist¥ClickAssist.config)

(※「C:¥ユーザー¥[アカウント名]¥AppData」は、「%AppData%」と記述することで省略することができます)

## ■ 7. 手動での起動

手動でクリックアシストを起動する場合は、デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューやスタート画面の、アプリの一覧の中から選択します。



## ■ 8. 終了

手動で終了する場合は、操作パネルの右上の「×」印をクリックして終了します。または、タスクトレイのアイコンをクリックして「終了」を選択します。



## ■ 9. 設定

各種設定をするには、操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。または、タスクトレイのアイコンをクリックして「設定」を選択します。設定の詳細は、「[1 8. 設定ダイアログ](#)」の項目を参照してください。



## ■ 10. 自動起動設定

自動起動の設定はクリックアシストの設定画面で変更できます。Windows 7 では「スタートアップ」に登録してログオン後に自動起動します。Windows 8.1 / 10 では、「コンピュータの簡単操作センター」に登録して自動起動します。「サインイン時」と「サインイン後」の設定ができます。自動機能設定については「[18. 設定ダイアログ](#)」もご参照ください。

1. 操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。
2. その他タブをクリックします。
3. 左下の「起動設定」のエリアを確認します。

Windows 7 の場合: スタートアップに登録にチェックを入れて OK ボタンを押します。  
(Windows7 の場合はここで設定終了です。)

Windows8.1/10 の場合: 起動設定登録ボタンを押して次に進みます。

4. ユーザーアカウント制御の画面では「はい」を選択します。
5. 自動起動するタイミングをチェックボックスで選択して OK ボタンを押します。

① 「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。

② 「その他」を選択します。

③ Windows7 の場合  
起動設定  
 スタートアップに登録(Q)  
チェックを入れて、OKボタンを押します。

③ Windows8.1 / 10 の場合  
起動設定  
起動設定登録ボタンを押して、次に進みます。

④ 「ユーザーアカウント制御」の画面が開いたらOKボタンを押します。

⑤ チェックボックスで「コンピュータの簡単操作センター」に登録するかどうか設定します。

## ■ 1 1. ライセンスのご購入

まずは、[10分お試し機能](#)で、有料版の機能をご確認ください。ご確認いただいたと、ライセンスをご購入いただき、有料版登録（ライセンス番号の登録）をしていただくと、すべての機能が利用できるようになります。ぜひライセンスのご購入をご検討ください。

### ■ ライセンスを購入する前にご確認ください。

- ✓ [ダウンロード](#)および[インストール](#)をして「[10分お試し機能](#)」などでライセンスを**購入前に動作確認**をしてください。
- ✓ クリックアシストは、アクセシビリティの機能を提供するための特殊な動作が含まれています。他のアプリケーションとの競合によるエラーが発生して利用できない場合があります。「[19. 注意事項](#)」をご確認いただき、**購入前に動作確認**をしてください。
- ✓ 領収書・見積書・納品書・請求書等の**書類の発行は行っておりません**。（クレジットカードの明細書や銀行振込の控え等をご利用ください）（販売事業者様への各種書類の発行も行っておりません）
- ✓ ライセンス証の発行は**電子メールのみでの発行となります**。（郵送や FAX 等による発行は行っておりません。）
- ✓ 下記の手順で表示されるクリックアシストのライセンス購入ページにある「利用規約」「販売購入規約」「プライバシーポリシー」「特定商取引に関する記述」を必ずお読みください。
- ✓ ライセンスの購入は、クリックアシストの設定画面から作業を開始します。ライセンスの購入を希望されるお客様は下記の手順で購入ページを開いてください。

1. 操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。
2. 「有料版登録」ボタンを選択して「ライセンスの購入と登録」画面を開きます。
3. 画面の下半分にある「これからライセンスを購入する方（購入ページが開きます）」を選択します。
4. 標準の Web ブラウザーで、ライセンス購入ページが開きます。
5. このあとは、開いた、ライセンス購入ページに書かれている注意書き等をよくお読みになって、購入手続きを進めてください。

===

6. 電子メールでライセンス番号がお手元に届きましたら、次の項目の「[12. 有料版登録（ライセンス番号の登録）](#)」の作業を行ってください。



■ クリックアシストをインストールしていないコンピュータからの購入手続き

クリックアシストをインストールしていないコンピュータから購入手続きをする場合は下記のリンクより、購入サイトを開いてください。

クリックアシスト有料版 ライセンス購入ページ

<https://www.at-shop.com/clickassist/>

(※上記の URL アドレスは、予告なく変更されることがあります)

## ■ 1 2. 有料版登録（ライセンス番号の登録）

ライセンスを購入し、ライセンス番号がお手元にあるお客様は、下記の手順で登録します。登録するパソコンがインターネットに接続している場合と、そうでない場合で登録手順が異なります。どちらの場合でも、まず、ライセンス登録画面を開いてください。

### ● ライセンス登録画面を開く

1. 操作パネルの「歯車」マークの設定アイコンを選択して設定ダイアログを開きます。
2. 「有料版登録」ボタンを選択して「ライセンスの購入と登録」画面を開きます。
3. 画面の下半分にある「ライセンス登録を始める（購入済みの方）」を選択します。
4. ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら「はい」を選択します。
5. 「クリックアシスト ライセンス登録」の画面が開くのを確認します。



●登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（通常の登録）

「通常の方法で登録します（インターネット経由で登録）」を選択してください。  
弊社ライセンス登録サーバーに接続してライセンスを登録します。

（※登録するパソコンがインターネットに接続していない場合は「[登録するパソコンがインターネットに接続していない場合](#)」をご参照ください。）

1. 「通常の方法で登録します」を選択して、次へボタンを押してください。

2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。

3. ライセンス番号を入力して、登録ボタンを押してください。

4. 登録完了のメッセージが表示されたら、OKボタンを押してください。

- もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認後、OKボタンを押して、再入力してください。
- 登録サーバーに接続できなかった場合は、画面の下半分に、その旨のメッセージが表示されます。必要に応じて「登録ボタン」または「パスコード登録」ボタンを押してください。

●登録するパソコンがインターネットに接続している場合の手順（パスコード登録）

通常の登録で、登録ボタンを何度押しても、接続エラーになる場合は、「パスコード登録」という方法で登録できます。パスコード登録をするには「パスコード登録」ボタンを押してください。

※インターネットに接続しているか確認してからもう一度「登録」ボタンを押してください。  
 ※何回やっても接続できない場合は「パスコード登録」ボタンを押してください。

Webブラウザの画面

パスワードが取得できました。  
 パスワード:12AB

1. パスコード登録ボタンを押してください。

2. 登録手順の説明を確認して、次へボタンを押してください。

3. パスコード表示ボタンを押してください（Webブラウザが開きます）。

4. Webブラウザの画面に、パスワードが表示されるので、それをメモしてください。

5. Webブラウザを閉じて、ライセンス登録画面に戻り、パスワードを入力して、登録ボタンを押してください。

6. 登録完了のメッセージが表示されたら、OKボタンを押してください。

もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認後、OKボタンを押して、再入力してください。



●登録するパソコンがインターネットに接続していない場合

インターネットに接続している別のパソコンで、弊社のライセンス登録サーバーにアクセスし「パスコード」を取得します。取得したパスコードを、登録するパソコンに入力することで、ライセンスを登録することができます。詳しい手順は、途中で印刷する手順書に書かれていますので、その手順書にしたがって登録を進めてください。

1. 「特殊な方法で登録します」を選択して、次へボタンを押してください。

2. 登録手順の説明を確認して、表示または印刷ボタンで、手順書を印刷してください。

3. この後は手順書をよくお読みになって登録を進めてください。

4. 図の手順④⑤⑥は、印刷した手順書の「ステップ2」のところに説明がありますのでご参照下さい。

5. 手順書の下にある「メモ欄」にライセンス番号とパスワードを記入してください。

6. もし、エラーが表示された場合は、エラーメッセージを確認して、OKボタンを押してください。

## オフライン登録の手順書の印刷例

※この手順書の印刷例に記載されている情報では、ライセンス登録はできません。オフライン登録を行う際は、必ず登録を行うパソコンで表示または印刷を行ってください。

<b>■■■■■ クリックアシスト オフライン登録の手順書 ■■■■■</b>
オフライン登録は次の2つのステップで登録します。 ステップ1：インターネットに接続しているパソコンに移動で「パスコード」を取得 ステップ2：ライセンスを登録するパソコンに戻ってライセンス番号とパスコードを登録
<b>■■■ ステップ1 ■■■</b> インターネットに接続しているパソコンに移動で「パスコード」を取得
1. ご購入時に受け取ったライセンス発行のお知らせメールに書かれている ライセンス番号を確認して一番下にあるメモ欄に記入してください。 ※ライセンス番号は「xxxx-xxxx-xxxx」といった形式の番号です。
2. インターネットに接続されているパソコンで Web ブラウザーを開き、下記の アドレスのページを開いてください。パスコード取得用の Web ページが表示されます。  https://www.at-shop.com/xxxxxxxx/xxxxxxxx/
3. 下記のメモ欄記入されている「ライセンス番号」と「マシンコード」を、 入力して、次へボタンを押してください。
4. 画面に「パスコード」が表示されますので、それを下記のメモ欄に記入してください。 なお、エラー等が表示された場合は画面の指示に従って再入力してください。
5. Web ブラウザーを閉じてください。
6. 下記のメモ欄にライセンス番号とパスコードが記入されていることを確認してください。
<b>■■■ ステップ2 ■■■</b> ライセンスを登録するパソコンに戻って「ライセンス番号」と「パスコード」を登録
1. ライセンスを登録するパソコンで、 「オフライン登録は、次の2つのステップで登録します」の画面を表示してください。
2. 次へボタンを押して次の画面に移動します。
3. 下記のメモ欄に記入済みの「ライセンス番号」と「パスコード」を入力して、 登録ボタンをおして、ライセンスの登録を完了してください。
4. エラー等が表示される場合は、エラー内容を確認して再入力してください。
==== = メモ欄 =====
ライセンス番号 [ xxxx - - ] <=メモしてください(※注1)
マシンコード [ xxxx - xxxx - xxxx ] <= (※注2)
パスコード [ ____ ____ ____ ____ ] <=メモしてください(※注3) (4文字)
※注1：ライセンス番号は「xxxx-xxxx-xxxx」といった形式の番号で、ご購入時に 受け取ったライセンス発行のお知らせメールに書かれています。
※注2：マシンコードは、コンピュータのハードウェアのから生成される 固有の番号です。ハードウェアの組み合わせ以外の情報（氏名や住所、 ご利用のソフトウェア名等）は一切含まれません。
※注3：4つの数字または大文字アルファベットです。

### ■ 1 3. 基本操作方法

クリックアシストの操作はとても簡単です。4つの基本操作を覚えるだけで、すぐにご利用いただけます。

<p>操作パネルの表示</p>	<p>クリックアシストを起動すると、右の図のような操作パネルが表示されます。</p> <p>常に最前面に表示されるので、いつでもクリックアシストの操作をすることができます。</p> <p>タイトルバーをドラッグして移動することもできます。ドラッグで移動した場合は、次回からは、移動した場所に表示されます。</p>	<p>ライセンス登録済みの場合の表示</p> 
<p>クリックを実行する</p>	<p>まず、ポインティングデバイスを使用して、画面のクリックしたい場所へ移動します。</p> <p>つぎに、一定時間（初期値1.5秒）その場所に留まっていると自動的にクリックします。</p>	
<p>モードを変更する</p>	<p>クリックと同じ要領で、ポインティングデバイスを使用して、変更したいモードのアイコンに移動します。</p> <p>そして、一定時間（初期値1.5秒）その場所に留まっていると自動的に選択されます。選択されるとアイコンの色が「青色」から「黄色」に変わります。</p> <p>モード変更してからクリックを実行すると、自動的に「左クリック」にモードが戻ります。</p>	
<p>連続操作モードに変更する</p>	<p>連続操作モードとは、同じクリック動作を連続して行いたいときに利用します。</p> <p>まず、モード変更と同じ要領で、モード変更を行い、アイコンの色が「黄色」に変わることを確認します。</p> <p>つぎに、もう一度「黄色」になっているアイコンをクリックと同じ要領で選択します。（マウスを動かさずにその場に留まっても同じ効果となります）</p> <p>すると、アイコンの左下に「鍵」マークが表示されて、連続操作モードになっていることがわかります。</p> <p>連続操作モードになっているときは、クリックを実行しても「左クリック」には戻りません。</p> <p>連続操作モードを解除するには、「左クリック」などの別のアイコンを選択します。</p>	

#### ■ 14. 各アイコンの動作について

アイコンは全部で10個です。アイコンを見ただけで、直観的に選択して操作できます。なお、無料版状態の場合は、一部のアイコンのみ利用できます。詳細は「[2. 無料版と有料版の違い](#)」をご参照ください。

	一時停止と再開	選択するとクリック動作を一時停止します。再開する場合は、再開アイコン (  ) を選択します。
	サブパネル 左クリック	左クリック：左クリックを自動的に行います。 サブパネル：サブパネルを表示します。 (詳細は「15. サブパネルモード」を参照) ※サブパネルモードを OFF にした場合、および無料版は、左クリックアイコン (  ) のみ表示されます。
	右クリック	右クリックを自動的に行います。
	ダブルクリック	左ダブルクリックを自動的に行います。
	左ドラッグ	左ドラッグ、または、右ドラッグを行います。 1回目のクリックでドラッグが開始されます。この時アイコンの色は「黄色」から「橙色」に変わります。 2回目のクリックでドラッグが終了します。この時アイコンの色は「橙色」から「青色」に戻ります。
	右ドラッグ	
	上ホイール	ホイールを上または下に動かします。 ホイールを使った、1回のスクロール量はWindowsのマウス設定で変更します。
	下ホイール	
	キーボード	「Windows 標準」または「かな 50 音配列」のオンスクリーンキーボードを起動します。再度選択すると最小化します。
	設定とヘルプ	設定ダイアログを開きます。ヘルプ (web ページ) は設定ダイアログからアクセスします。

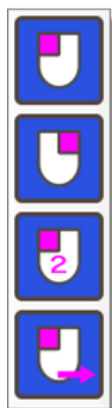
## ■ 15. サブパネルモード

### サブパネルモードとは？

サブパネル機能を利用するとクリックしたい位置に移動してから、クリック動作を選択することができます。従来のクリック操作を決めてからクリックしたい位置に移動するよりも、より直観的に操作をすることができます。

従来モード	1. クリック動作を選択する。 2. クリックしたい位置へ移動する。
サブパネルモード	1. クリックしたい位置へ移動する。 2. クリック動作を選択する。


サブパネルで選択できるクリック動作は次の通りです。動作はメインの操作パネルを選択したときと同様に動作します。



左クリック	左クリックを自動的に行います。
右クリック	右クリックを自動的に行います。
左ダブルクリック	左ダブルクリックを自動的に行います。
ドラッグ	左ドラッグを行います。




キャンセル	その場で数秒待機すると（初期値では5秒）、自動でキャンセルとなります。
別の場所をクリック	サブパネルを選択せずに、別の場所へ移動すると移動した場所で、再びサブパネルが開きます。

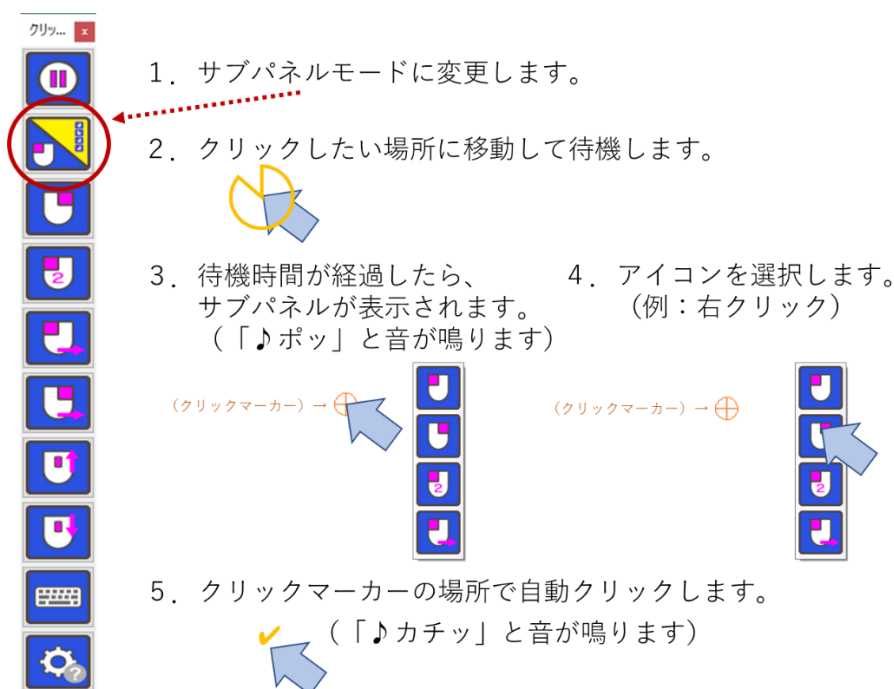
## サブパネルモード利用の準備

メインの操作パネルに、() 左クリックとサブパネルのアイコンが両方あり斜めの線で区切られているアイコンが表示されていることを確認します。このアイコンが表示されていない場合は、設定の中の「サブパネル」で、「サブパネルモードを利用する」のチェックボックスにチェックを入れて、OK ボタンを押してください。

(※無料版では、サブパネルモードは利用できません。 [10分お試し機能](#)でご確認ください。)

## サブパネルモードの利用

1.  アイコンを選択して、サブパネルモードに変更します。 => 
2. クリックしたい位置に移動して待機します。
3. クリックまでの待機時間が経過するとサブパネルが表示されます。(下記の図を参照)
  - 表示するときに「♪ポッ」と音が鳴ります。
  - クリックする場所に「クリックマーカー」が表示されます。(  )
  - 表示位置はクリック待機有効範囲の設定を参照して自動で決定されます。
4. サブパネルに表示されたアイコンの中から、操作したいアイコンまで移動して、待機します。
5. クリックまでの待機時間が経過すると、クリックマーカーの場所を自動的にクリックします。



### **別の場所をクリックしたい場合**

サブパネルが開いた後、その場所でなく別の場所をクリックしたい場合は、サブパネルを選択せずに、別の場所へ移動して、待機してください。その場所で再びサブパネルが開きます。

### **キャンセルしたい場合**

動作をキャンセルしたい場合は、移動せずにその場で数秒待機すると（初期値では5秒）、自動でキャンセルとなり、サブパネルとクリックマーカーが閉じます。

### **サブパネルモードの設定**

サブパネルモードは設定ダイアログで動作を変更することができます。詳細は「[18. 設定ダイアログ](#)」の中の「サブパネル」の項目を参照してください。

### **注意点**

サブパネルモードで設定パネルを開くと、お知らせダイアログが表示されて、自動的に左クリックモードに変更されます。設定ダイアログではサブパネルモードは利用できませんのであらかじめご了承ください。

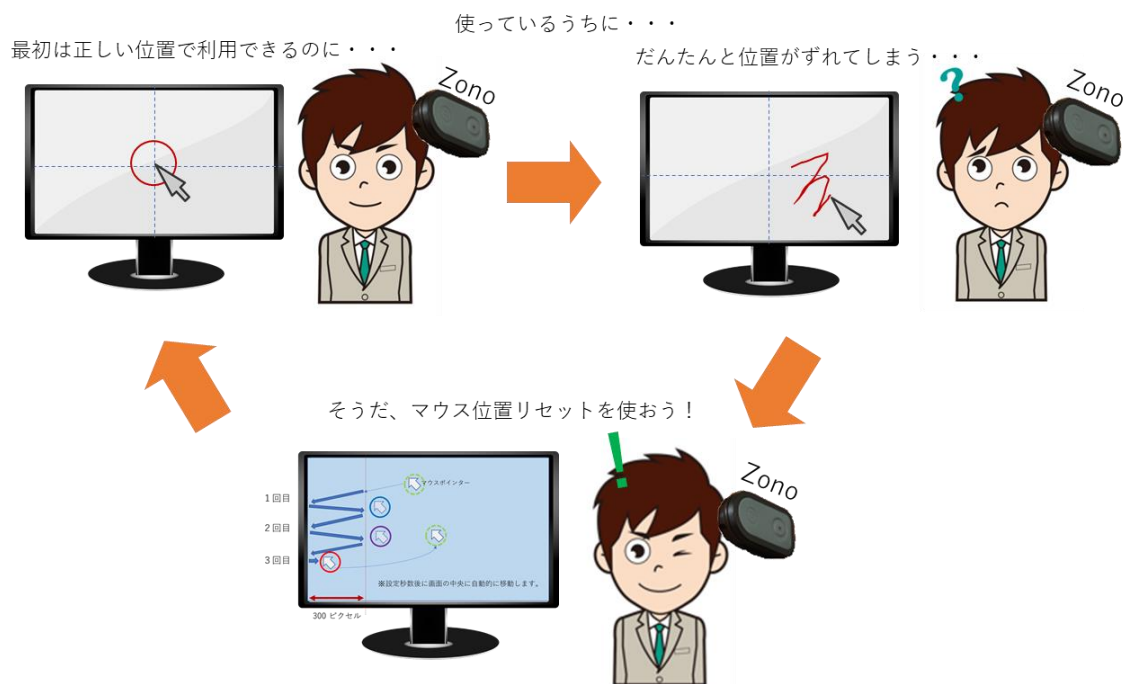
サブパネルモードでは、クリックアシストの、メイン操作パネルのタイトルバーや、閉じるボタンは操作することができません。それらを操作したい場合は、左クリックモードに変更してからご利用ください。

## ■ 1 6. マウス位置リセット機能 (Zono 用)

Zono を利用していると、だんだんとマウスの基準位置がずれてしまうことがあります。  
例えば・・・、

最初は、正面に頭を向ければ画面の中央にマウスが移動することができたのに、利用している間に、だんだんと位置がずれてしまい、頭を正面に向けても、マウスが画面の中央に移動せず、右や左、上や下にずれてしまった・・・。

ということが発生してしまいます。このような場合に、このマウス位置リセット機能で、一定の操作をすると、正面に頭を向ければ画面の中央にマウスが移動するように、位置を合わせ直すことができます。



### マウス位置リセット機能の準備

設定の中の「その他」で、「マウス位置リセット (Zono 用)」のチェックボックスにチェックを入れて、OK ボタンを押してください。

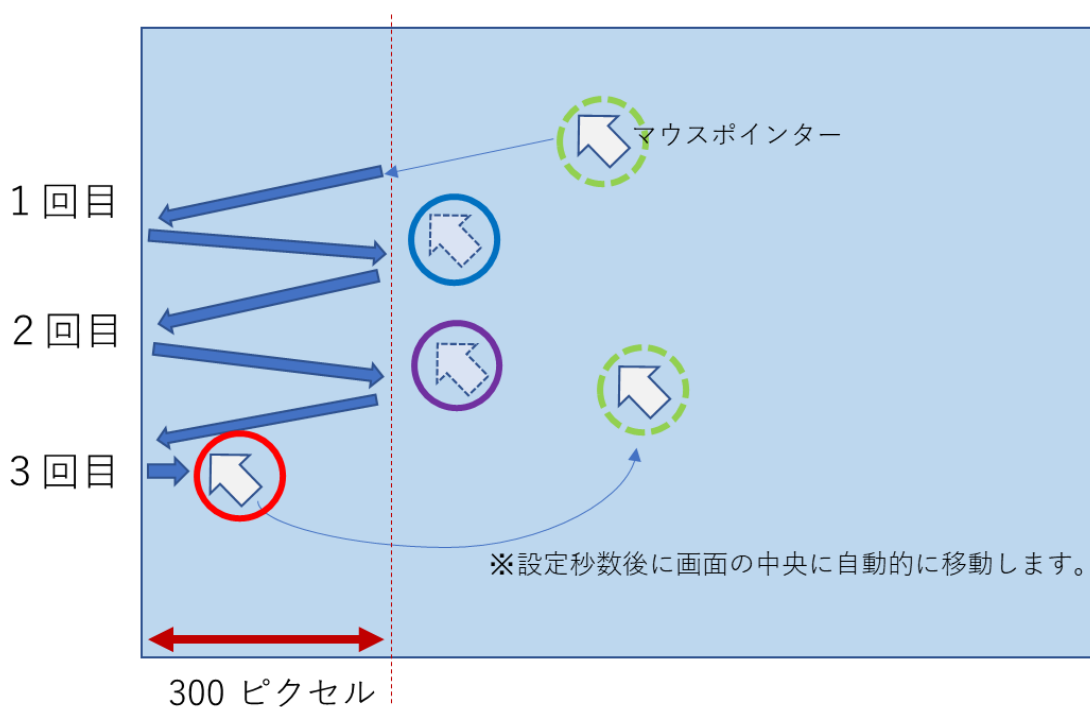
(※無料版では、マウス位置リセットは利用できません。[10分お試し機能](#)でご確認ください。)



## マウス位置リセット機能の利用

Zono を利用中に、マウスの基準位置がずれてしまったら、次の操作でマウス位置をリセットすることができます。

1. Zono を利用して画面の端を 3 回叩くような感じでマウス移動をします。
2. 画面の端であれば、上下左右いずれの端でも構いませんが、同一の画面の端を連続して叩いてください。例えば画面の左を連続して 3 回叩くように操作します。
  - 画面の端をたたいたら、一定距離を戻してから（初期値 300 ピクセル）再び画面の端をただくようにしてください。
  - 指定秒数（初期値 5 秒）以内に 3 回叩き終わらない場合は、マウス位置リセットはキャンセルされます。
  - 画面の端を叩くたびに、マウス強調の円が「青」「紫」「赤」に変わります。
3. 3 回叩き終わると（マウス強調の円が赤になると）、画面中央にダイアログが表示されます。表示されてから、判定時間経過すると（初期値 5 秒）、画面中央にマウスが移動します。判定経過時間は、マウス位置に数字が表示されてカウントダウンされます。
4. このとき、画面の中央にマウスがある状態をイメージして姿勢を正してください。



## ■ 17. かな50音配列オンスクリーンキーボード

Windows 標準のオンスクリーンキーボードの代わりに、日本語の50音配列の「かな50音配列のオンスクリーンキーボード」を利用することができます。親しみのある50音配列なので、素早く簡単に入力することができます。50音の並びを「右から」または「左から」を選択することができます。また、英字入力キーボードに切り替えて英字を入力することもできます。

### かな50音配列キーボード（右から）



### かな50音配列キーボード（左から）



### 英字キーボード

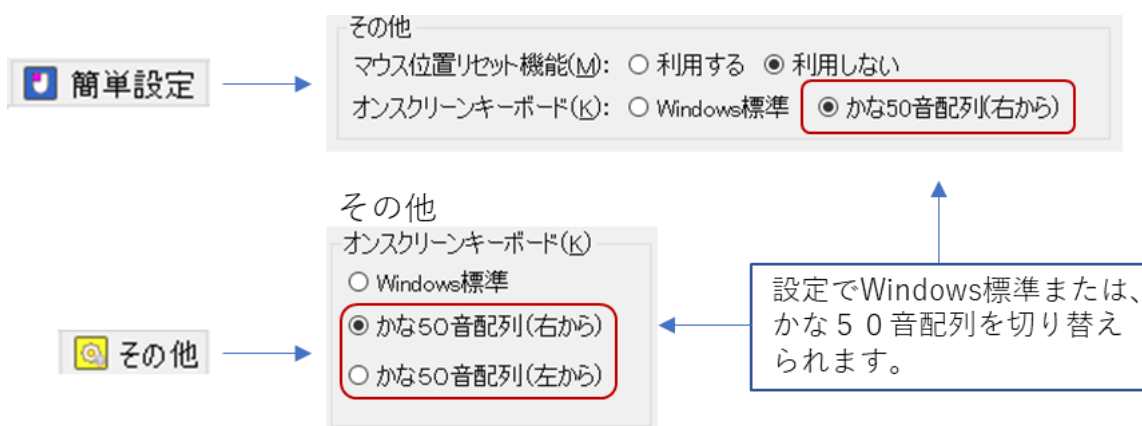


## かな50音配列のオンスクリーンキーボードの準備

設定の中の「その他」の「オンスクリーンキーボード」から、「かな50音配列（右から）」または「かな50音配列（左から）」を選択して、OK ボタンを押してください。

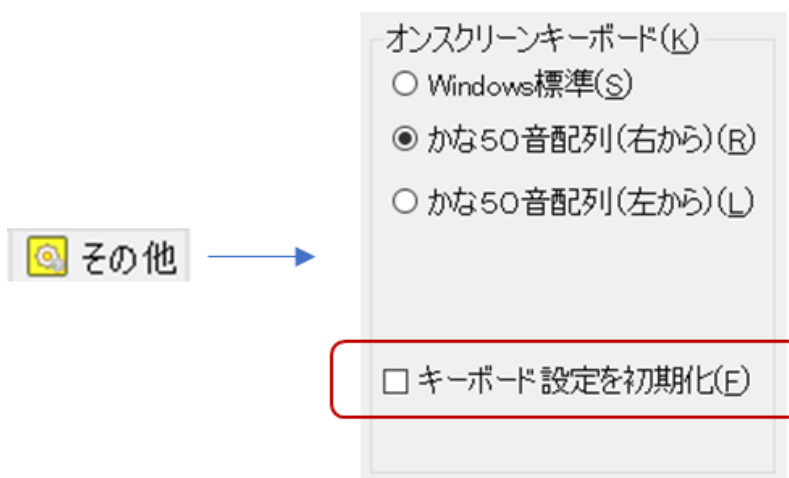
※注意：IMEの入力モードは「ローマ字入力」のままご利用ください。

（※無料版では、かな50音配列のオンスクリーンキーボードは利用できません。[10分お試し機能](#)でご確認ください。）



## キーボードが正しく表示されない場合

キーボードが正しく表示されない場合は、設定の中の「その他」の「オンスクリーンキーボード」の中の「キーボード設定を初期化」のチェックボックスにチェックを入れて、OK ボタンを押してください。キーボード設定が初期化されます。



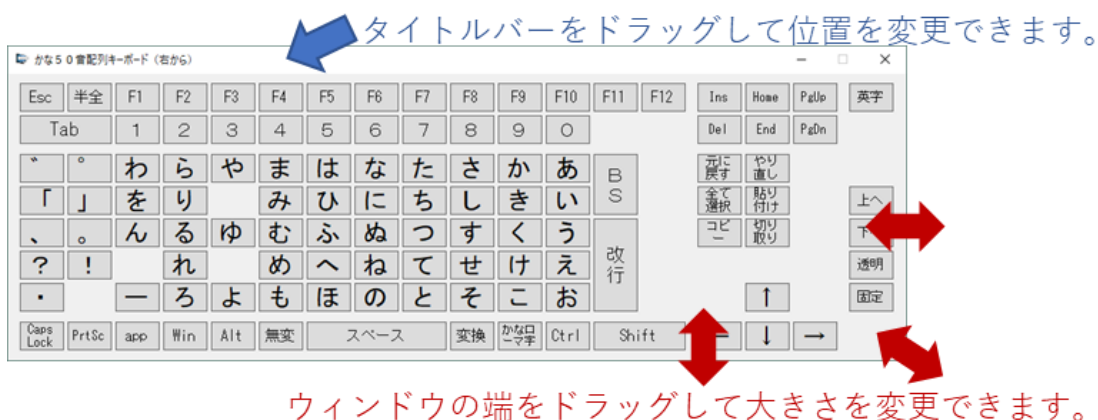
## キーボードの表示

メインパネルの「キーボード」アイコンを選択すると、Windows 標準オンスクリーンキーボードの代わりに「かな50音配列オンスクリーンキーボード」が表示されます。



## キーボードの移動や大きさの変更

キーボードの移動や大きさの変更は一般的なウィンドウ操作と同様です。キーボードを移動する場合は、キーボード上部のタイトルバーをドラッグしてください。また、キーボードの大きさを変更する場合は、キーボードの四隅またはウィンドウの端をドラッグしてください。キーボードの大きさを変更すると自動的にキーの大きさや文字の大きさが変更されます。



## かな入力

キーボード上のかな文字のキーをクリックすることで、かな入力することができます。小さい文字は、シフトキーを選択してから、かなキーをクリックしてください。濁点や半濁点は、かな文字を入力してから濁点または半濁点をクリックしてください。小さい文字、濁点半濁点の入力は、通常のキーボードと同様の入力となります。

※注意：IMEの入力モードは「ローマ字入力」のままご利用ください。



### 英字の入力







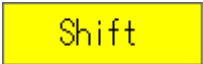





英字を入力する場合は、右上隅にある「英字」をクリックしてください。英字キーボードが表示されます。キーボード上の英字や記号のキーをクリックすることで、英字や記号を入力することができます。かな50音配列に戻る場合は、右上隅にある「かな」をクリックしてください。



### 切替キーのロック

Alt キー、Ctrl キー、Shift キー、Win キーは、同時押しのため、キーロック機能が働きます。1回クリックすると1文字だけ有効になりキーロックが解除されます。2回クリックすると、再度クリックするまでキーロックが継続します。3回クリックすると、キーロックが解除されます。



クリックの回数	1回目のクリック	2回目のクリック	3回目のクリック
状態の説明	<p>キーの背景色が、黄色になります。</p> <p>キーロックは1文字だけ有効です。</p> <p>この状態で、他のキーを1文字入力するとキーロックは解除されます。</p>	<p>キーの背景色が、紫色になります。</p> <p>キーロックは継続します。</p> <p>この状態で、他のキーを何回押しても、キーロックは継続されます。</p>	<p>キーの背景色が、灰色に戻ります。</p> <p>キーロックが解除されます。</p> <p>キーロックが解除されて、通常の入力ができるようになります。</p>
Alt キー			
Ctrl キー			
Shift キー			
Windows キー			

## その他の機能キー



	キー	機能
編集操作	元に戻す	Ctrl+Z を送信します。
	やり直し	Ctrl+Y を送信します。
	全て選択	Ctrl+A を送信します。
	貼り付け	Ctrl+V を送信します。
	コピー	Ctrl+C を送信します。
	切り取り	Ctrl+X を送信します。
キーボードの移動等	上へ	キーボードを画面の上部に移動します。
	下へ	キーボードを画面の下部に移動します。
	透明	キーボードを一時的に透明表示します。
	固定	キーボードを画面下部に固定表示します。

## かな50音配列オンスクリーンキーボード利用時の注意点

**IMEの入力モードは「ローマ字入力」のままでご利用ください。**IMEの入力が「かな入力」の場合、正しく入力できない場合があります。

**キーボード入力を監視するようなプログラムとの併用は避けてください。**キーボード入力を監視するようなプログラムを併用していると、かな入力と英字入力の切替ができなくなることがあります。

キーボード入力を監視するようなプログラムの例

- タスクバーに常駐してホットキー機能（特定のキーを押すと特定のアプリを起動する等）を提供するプログラムなど
- CapsLock、NumLock、ScrollLock 等の切替キーを監視や制御するプログラムなど

**キーボードの設定（ドライバー）は、日本語の109キーボードに設定してください。**それ以外のキーボード設定では、正しく動作しない場合があります。特に英語キーボードを接続していたり、英語のキーボード設定（ドライバー）が設定していたりすると、正しく入力することができません。

IMEの入力モードが「かな入力」になってしまい、英字入力ができなくなってしまった場合は、「Alt」＋「ひらがな」キー、または「Shift」＋「Ctrl」＋「ひらがな」キーで、入力モードをローマ字入力に戻してください。

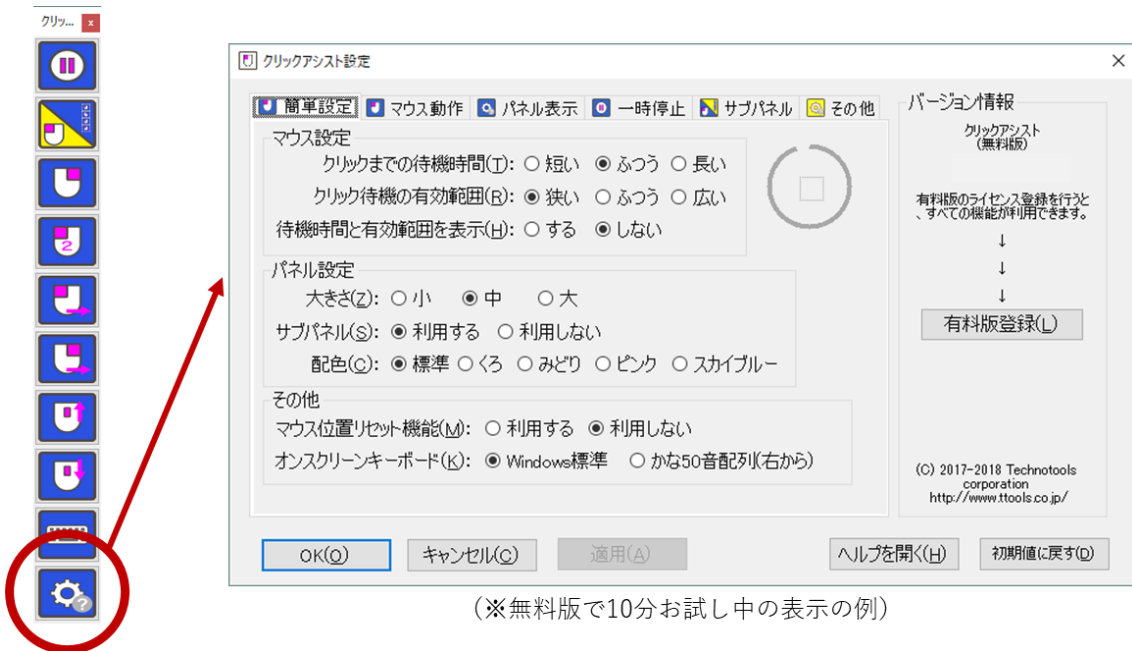
日本語が入力できる実際のキーボードを接続していない場合は、正しく入力できないことがあります（日本語のキーボードが接続されていない場合だと、Windowsが日本語用のキーボードのキーコードを受け付けません）。

設定ダイアログやクリックアシストのメッセージダイアログと、かな50音配列オンスクリーンキーボードが重なると、キーボードが操作できなくなることがあります。その場合は、クリックアシストのキーボードアイコンで、一旦キーボードを閉じてから操作をしてください。なお、この問題を回避するため、設定ダイアログを開くと、かな50音配列オンスクリーンキーボードは自動的に最小化されます。



## ■ 18. 設定ダイアログ

設定ダイアログでは、利用者の状況に合わせて様々な設定を用意しています。設定ダイアログを開くには「歯車」マークの設定アイコンを選択します。



クリックアシスト設定は、タブ表示によって6つのグループに分かれています。また、タブとは別に、バージョン情報等の情報を表示しています。

タブ	設定項目の概要
<a href="#">簡単設定タブ</a>	主な設定を簡単に設定することができます。
<a href="#">マウス動作タブ</a>	マウスの動作や表示に関する設定ができます。
<a href="#">パネル表示タブ</a>	操作パネルの表示に関する設定ができます。
<a href="#">一時停止タブ</a>	一時停止に関する動作の設定ができます。
<a href="#">サブパネルタブ</a>	サブパネルの利用の有無や動作の設定ができます。
<a href="#">その他タブ</a>	マウス位置リセット (Zono 用) 設定、オンスクリーンキーボード設定、起動設定、の各種設定ができます。
<a href="#">その他</a>	バージョン情報表示、有料版登録、各種操作ボタン

(※無料版状態では、一部の設定のみ利用できます。詳細は「[2. 無料版と有料版の違い](#)」をご参照ください。なお、[10 お試し機能](#)で設定変更をお試しいただけます。)

## ■ 簡単設定

	設定項目	説明
マウス設定	クリックまでの待機時間	<p>クリックするために必要な、マウスをその場所に留めておく時間を選択します。「短い」「ふつう」「長い」から選択できます。</p> <p>(短い：0.7 秒 ふつう：1.5 秒 長い：3.0 秒)</p> <p>※待機時間の目安を右の側のアニメーションで確認できます。</p>
	クリック待機の有効範囲	<p>マウスが動いても、その場所に留まっていると判定する有効範囲（震えなどの許容範囲）を選択します。</p> <p>「狭い」「ふつう」「広い」から選択できます。</p> <p>(狭い：10 ピクセル ふつう：20 ピクセル 広い：30 ピクセル)</p> <p>※有効範囲の目安を右の側のアニメーションで確認できます。</p>
	待機時間と有効範囲を表示	<p>クリックするために、マウスをその場所に留めているときに、クリックを実行するまでの時間の目安を円で表示するかどうか選択できます。一周回って弧がつかなくなって円になると、クリックが実行されます。</p> <p>クリック待機の有効範囲の目安を点線で表示するかどうかを選択します。赤色の点線表示は、クリックまでの待機時間がカウントされていることを示します。青色の点線表示は、クリックを実行した後で、クリックまでの待機時間がカウントされていないことを示します。なお、青色の点線表示の場合は、青色の点線より外に移動しないと次のクリックは実行されません。表示を「する」「しない」いずれかを選択できます。</p>
パネル設定	大きさ	操作パネルのサイズを選択できます。「小」「中」「大」の中から選択できます。
	サブパネル	サブパネルモードを利用するかどうか選択できます。「利用する」「利用しない」の中から選択できます。
その他	マウス位置リセット機能	マウス位置リセット機能を利用するかどうか選択できます。「利用する」「利用しない」の中から選択できます。
	オンスクリーンキーボード	Windows 標準のキーボードか、かな50音配列キーボード（右から）のいずれかを選択できます。

■ マウス動作タブ

	設定項目	説明
マウスの動作設定	クリックまでの待機時間	クリックするために必要な、マウスをその場所に留めておく時間を選択します。0.5～3.0 秒の範囲で、0.1 秒ごとに選択できます。初期値は 1.5 秒です。
	クリック待機の有効範囲	マウスが動いても、その場所に留まっていると判定する有効範囲（震えなどの許容範囲）を選択します。10～100 ピクセルの範囲で 10 ピクセル毎に選択できます。初期値は 10 ピクセルです。
マウス表示設定	マウスのプロパティを開く	Windows の「マウスのプロパティ」ダイアログを開きます。
	待機時間の表示	クリックするために、マウスをその場所に留めているときに、クリックを実行するまでの時間の目安を円で表示します。一周回って弧がつながって円になると、クリックが実行されます。初期値はチェックなしです。
	有効範囲の表示	クリック待機の有効範囲の目安を点線で表示します。赤色の点線表示は、クリックまでの待機時間がカウントされていることを示します。青色の点線表示は、クリックを実行した後で、クリックまでの待機時間がカウントされていないことを示します。なお、青色の点線表示の場合は、青色の点線より外に移動しないと次のクリックは実行されません。初期値はチェックなしです。
	マウスカーソルの強調	マウスの位置を常に円で表示します。マウスの位置を見失うことが多い方にお勧めです。初期値はチェックなしです。マウスカーソル強調は、常に表示されます。動画等を全画面で視聴される場合などは、無効にすることをお勧めします。
	クリック音を鳴らす	クリックアシストが自動でクリックしたときに、クリック音を鳴らすかどうかを選択します。初期値はチェックありです。

■ パネル表示タブ

	設定項目	説明
操作 パ ネ ル の 表 示 設 定	サイズ	操作パネルのサイズを選択できます。 小、中、大の中から選択できます。初期値は中です。
	透明表示	操作パネルの透明度を選択できます。 なし、50%、90%から選択できます。初期値はなしです。
	基準位置	操作パネルの基準位置を選択できます。基準位置とは、何らかの事情でモニターの表示設定が変わり、正しく表示されない状態となった場合にもとに戻る位置です。 上、下、左、右から選択できます。初期値は右です。
	閉じるボタンを表示	操作パネルの右上の「×」を表示するかどうか選択できます。初期値はチェックありです。
	タイトルバーを表示	操作パネルの上部のタイトルバーを表示するかどうか選択できます。タイトルバーを非表示にすると、操作パネルをドラッグで移動することはできません。初期値はチェックありです。
	操作パネルのスナップ	操作パネルを画面の端にドラッグして移動した場合、その位置にあった標準の位置に位置を修正します。初期値はチェックなしです。 この機能を有効にしている場合は、マルチモニター環境でサブモニターへの移動はできません。サブモニターへ移動して利用したい場合は、無効にしてください。
	簡易表示	ドラッグとホイールの操作をしない場合は、非表示にすることができます。初期値はチェックなしです。
	配色	操作パネルの配色を変更できます。

■一時停止タブ

	設定項目	説明
一時停止中の透明表示	透明表示までの時間	一時停止にしたときに、一定の時間が経つと自動的に非表示になる機能です。非表示（透明度90%）になる時間を選択できます。 なし、5秒、10秒、30秒、から選択できます。初期値は、なしです。
	ほぼ透明表示	チェックありにすると、透明度が99%になります。初期値はチェックなしです。
	マウス移動で再表示	ほぼ透明表示になってもマウスを動かすと薄く表示されて位置がわかります。初期値はチェックありです。 ※「マウス移動で再表示」を「チェック無し」を選択した場合は、現在の操作パネルの位置にマウスを移動させると再表示されます。操作パネルの位置を忘れてしまうと、再表示できなくなりますのでご注意ください。
自動的に一時停止に変更するタイミング	意図せずクリック操作をしないように、自動的に一時停止する機能です。	
	クリックアシスト起動時	クリックアシストが起動するときに、自動的に一時停止状態になります。初期値はチェックなしです。
	スクリーンセーバー、画面OFF、スタンバイ時	スクリーンセーバー、画面OFF、スタンバイのときに、自動的に一時停止状態になります。初期値はチェックなしです。
	サインイン、UAC画面（※ Win8.1/Win10のみ）	サインイン画面、UAC画面のときに、自動的に一時停止状態になります。初期値はチェックなしです。

## ■サブパネルタブ

設定項目	説明
サブパネルモードを利用する	サブパネルモードを利用するかどうかが選択できます。初期値はチェックありです。
表示時間	サブパネルが開いてから、サブパネルを選択しなかった場合に、サブパネルが自動で閉じるまでの時間を選択できます。初期値は5秒です。
クリックマーカーを表示する	クリックマーカーを表示するかどうかが選択できます。初期値はチェックありです。
透明度	サブパネルの透明度を選択できます。 なし、50%、90%から選択できます。初期値はなしです。
既定のモード	起動時のモードを「左クリック」にするか「サブパネル」にするかを選択できます。初期値は左クリックです。

※サブパネルモードについては「[15. サブパネルモード](#)」も合わせてご参照ください。

## ■その他タブ

### ◆マウス位置リセット (Zono 用)

	設定項目	説明
マウス位置リセット	マウス位置リセット (Zono 用)	マウス位置リセット機能を利用するかどうかが選択できます。初期値はチェック無しです。
	判定時間	画面の端を3回たたく操作の時間について、マウス位置リセット操作と判定する時間を選択できます。初期値は5秒です。
	判定距離	画面の端を3回たたく操作の距離について、画面の端からどの程度離れたらマウス位置リセット操作と判定するかその距離を選択できます。初期値は300ピクセルです。

※マウス位置リセット (Zono 用) については「[16. マウス位置リセット \(Zono 用\)](#)」も合わせてご参照ください。

◆オンスクリーンキーボード

	設定項目	説明
オ ン ス ク リ ー ン キ ー ボ ー ド	Windows 標準	Windows 標準のオンスクリーンキーボードを選択できます。
	かな 50 音配列 (右から)	右から「あいうえお」が並んでいる、かな 50 音配列を選択できます。
	かな 50 音配列 (左から)	左から「あいうえお」が並んでいる、かな 50 音配列を選択できます。

※かな 50 音配列オンスクリーンキーボードについては、「[17. かな 50 音配列オンスクリーンキーボード](#)」も合わせてご参照ください。

※Windows 標準オンスクリーンキーボードについては、下記の URL をご参照ください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/10762/windows-use-on-screen-keyboard>

(※上記の URL アドレスは、予告なく変更されることがあります)

◆起動設定

	設定項目	説明
起 動 設 定	Windows 7 の場合	スタートアップに登録のチェックボックスがあります。このチェックボックスで、スタートアップに登録するかどうか選択します。
	Windows 8.1 / 10 の場合	<p>「起動設定登録」ボタンがあります。このボタンを押すと、一旦「ユーザーアカウント制御」の画面となりますので、「はい」を選択します。すると、クリックアシスト起動設定ダイアログが開きます。このダイアログで、自動起動をするかどうか下記の項目から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サインイン時 (ログイン画面等で起動)</li> <li>・ サインイン後 (デスクトップ・UAC 画面等で起動)</li> </ul> <p>通常は両方にチェックを付けることをお勧めします。サインイン時にだけチェックを付けた場合は、サインイン画面 (ログオン画面) のみ起動し、サインイン後は起動しません。サインイン後にだけチェックを付けた場合は、サインイン画面 (ログオン画面) では起動せず、サインインした後のデスクトップで起動します。この場合スリープから復帰した後のパスワード画面等は起動しません。</p> <p>(※起動設定は Windows の再起動により有効になります。)</p>

■ その他（バージョン情報表示、有料版登録など）

設定項目	説明
バージョン情報表示	バージョン情報の欄にプログラムのバージョン情報（数字）が表示されます。 また、ライセンス番号が登録されていない場合は「無料版」と表示されます。ライセンス番号が登録されている場合は、「有料版」と表示され、ライセンス番号等が表示されます。
有料版登録ボタン	無料版では、ライセンス番号を登録するための「有料版登録」ボタンが表示されます。このボタンを利用して、ライセンスのご購入サイトのご案内や、ライセンス番号の登録を行います。  <b>■ <u>ライセンスのご購入</u></b> ライセンスの購入手順は「 <a href="#">1 1. ライセンスのご購入</a> 」を参照してください。  <b>■ <u>有料版登録（ライセンス番号の登録）</u></b> 有料版登録の手順は「 <a href="#">1 2. 有料版登録（ライセンス番号の登録）</a> 」を参照してください。

■ 各種操作ボタン

設定項目	説明
OK ボタン	設定を保存してダイアログを閉じます。
キャンセルボタン	設定を保存せずにダイアログを閉じます。
適用ボタン	設定をすぐに適用します。
ヘルプを開くボタン	ヘルプ（web ページ）を開きます。
初期値に戻すボタン	設定を初期値に戻します。



## ■ 19. 注意事項

### ・サブパネルモードを利用している場合

サブパネルモードで設定パネルを開くと、お知らせダイアログが表示されて、自動的に左クリックモード変更されます。設定ダイアログではサブパネルモードは利用できませんのであらかじめご了承ください。サブパネルモードでは、クリックアシストのメインの操作パネルのタイトルバーや閉じるボタンは操作することはできません。それら进行操作したい場合は、左クリックモードに変更してからご利用ください。

### ・「マウス移動で再表示」を「チェック無し」にしている場合

「位置停止中の非表示化」の設定の中の「マウス移動で再表示」の「チェック無し」を選択した場合は、現在の操作パネルの位置にマウスを移動させると再表示されます。

※操作パネルの位置を忘れてしまうと、再表示できなくなりますのでご注意ください。

### ・「クリックまでの待機時間」を短く設定している場合

「マウスの動作設定」の「クリックまでの待機時間」を短く設定すると、意図しないクリックが発生する原因となります。短く設定した場合は、設定後の操作には十分ご注意ください。

※特に 0.5 秒以下に設定する場合は、意図しないクリックが多発する可能性がありますので、十分注意して設定を行ってください。

### ・かな50音配列オンスクリーンキーボードを利用する際の注意点

かな50音配列オンスクリーンキーボードを利用する際は、「[17. かな50音配列オンスクリーンキーボード](#)」の「かな50音配列オンスクリーンキーボード利用時の注意点」をご参照ください。

### ・スクリーンセーバーを解除するためにマウスを動かした場合

スクリーンセーバーを解除するためにマウスを動かした場合でも、クリックまでの待機時間がカウントされてクリック動作を行います。スクリーンセーバー解除後にクリック動作をしないようにするには、「自動的に一時停止に変更するタイミング」の「スクリーンセーバー、画面 OFF、スタンバイ時」にチェックを入れてください。

### **・ Zono で利用する場合の注意点**

Zono の Auto Click 機能は、あらかじめ OFF にしてください。ON のまま利用すると、クリックアシストと競合して意図しないクリックの発生等の原因になります。

あらかじめ、Zono の初期化ツールおよび設定ツールを利用して、利用者が正しく利用できるように設定してからクリックアシストをご利用ください。正しく利用できない状態では、クリックできないまたは意図しないクリックの発生等の原因になります。

### **・ ジョイスティックマウスで利用する場合の注意点**

ジョイスティックマウスのボタン 1～3 の機能を OFF にしておくことをお勧めします。OFF にしていない場合、意図しないクリックの発生等の原因になります。

あらかじめ、ジョイスティックマウス設定ツールを利用して、利用者が正しく利用できるように設定してからクリックアシストをご利用ください。正しく利用できない状態では、クリックできないまたは意図しないクリックの発生等の原因になります。

### **・ その他のポインティングデバイスで利用する場合の注意点**

一般的なマウスやトラックボールでご利用の場合は、各種ボタンの無効化やボタンを操作しないような工夫をしていただくことをお勧めします。意図しないクリックの発生を抑えることができます。

### **・ Windows のマウス設定（マウスのプロパティ）に関する注意点**

「主と副のボタンを切り替える」を有効にした場合、クリックアシストの操作も主と副が切り替わる（逆になる）のでご注意ください。

その他の設定は、極端な設定は避け、初期値または中央値に近い設定を推奨します。

クリックロックを有効にしても、クリックアシストでは利用できません。

### **・ メイン操作パネルの下側に余白ができる場合の注意点**

コンピュータの解像度やそのたの環境によって、メイン操作パネルの下側に余白ができることがあります（一時停止時も含む）。余白が出ても動作上問題ありませんが、余白が気になる場合は、クリックアシストの設定で、タイトルバーの表示を非表示に設定してください。また、高 DPI モニターで DPI スケーリングが 100% よりも大きい場合については、下記の「高 DPI モニターをご利用の場合の注意点」をご参照ください。

## ・高 DPI モニターをご利用の場合の注意点

Windows7 および Windows8.1 で、DPI スケーリングが 100%よりも大きい場合、操作パネルの下側に余白ができることがあります。余白が気になる場合は、クリックアシストの設定で、タイトルバーの表示を非表示に設定するか、DPI スケーリングの調整を行ってください。

カスタム DPI や DPI スケーリングが大きい場合、操作パネルの右端または下端が少し切れて表示されることがありますが、動作上問題ありません。切れた表示が気になる場合は、クリックアシストの設定で、タイトルバーの表示を非表示に設定するか、DPI スケーリングの調整を行ってください。

DPI スケーリングが大きい場合、操作パネルが画面に入りきらずに、はみ出してしまう場合があります。その場合はクリックアシストの設定で、操作パネルの大きさの変更や、簡易表示の設定をするか、DPI スケーリングの調整を行ってください。

DPI スケーリングの調整は次の手順で行います。

Windows7 の場合

1. スタートメニューから「コントロールパネル」を選択して開きます。
2. 「画面の解像度の調整」を開きます。
3. 「テキストやその他の項目の大きさの変更」を開きます。
4. 「画面上の文字を読みやすくします」の項目や「カスタムテキストサイズの設定 (DPI)」の項目で設定の確認や変更をします。
5. 100%または画面に「推奨」と表示されている設定にすることをお勧めします。

Windows8.1 の場合

1. スタートボタンを右クリックして「コントロールパネル」を選択して開きます。
2. 「画面の解像度の調整」を開きます。
3. 「テキストやその他の項目の大きさの変更」を開きます。
4. 「すべての項目のサイズを変更する」の項目や「すべてのディスプレイで同じ拡大率を使用する」の項目や「カスタムサイズ変更オプション」の項目で設定の確認や変更をします。
5. 100%または画面に「推奨」と表示されている設定にすることをお勧めします。

Windows10 の場合

1. スタート画面の「設定」を選択して設定画面を開きます。
2. 「システム」を開きます。

3. 「ディスプレイ」を開きます。
4. 「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する」の項目や「カスタムスケールリング」の項目、あるいは「ディスプレイの詳細設定」の中の「テキストやその他の項目の大きさの変更」の中の「カスタムの拡大率を設定」の項目で設定の確認や変更をします。
5. 100%または画面に「推奨」と表示されている設定にすることをお勧めします。

### **・他のアクセシビリティの機能やソフトウェアと併用される場合の注意点**

ご注意：下記に他のアクセシビリティ機能と併用される場合についての注意点を記述しますが、該当するアクセシビリティ機能と併用して正しく動作することを保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

#### ・ハイコントラスト表示

ハイコントラスト表示で利用する場合でも、操作パネルの色は変更されません。必要に応じて、設定ダイアログの「パネル表示」の中の「配色」から色を選択してください。

#### ・オンスクリーンキーボード

Windows のオンスクリーンキーボードと併用される場合は、クリックアシストのキーボードアイコンから起動および非表示（最小化）することをお勧めします。また、オンスクリーンキーボードとクリックアシストの操作パネルが重なると、再表示が繰り返されて、画面がちらつくことがありますので、可能な限り表示が重ならない位置に配置してください。他のオンスクリーンキーボードを併用する場合も同様の現象が起きる可能性がありますのであらかじめご確認ください。

設定ダイアログやクリックアシストのメッセージダイアログと、Windows のオンスクリーンキーボード等が重なると、キーボードが操作できなくなることがあります。その場合は、クリックアシストのキーボードアイコンで、一旦キーボードを閉じてから操作をしてください。

かな50音配列オンスクリーンキーボードを利用する際は、「[17. かな50音配列オンスクリーンキーボード](#)」の「[かな50音配列オンスクリーンキーボード利用時の注意点](#)」もご参照ください。

#### ・拡大鏡（拡大ソフト）

Windows の拡大鏡を併用される場合は、拡大表示を「全画面」とした場合は、拡大率によってはクリックアシストの操作パネルが画面の外に表示されることとなりますので、あらかじめご注意ください。

拡大表示を「固定」とした場合、拡大表示部分とクリックアシストが重なると正しく表示できない場合がありますので表示が重ならないよう調整してください。

拡大表示を「レンズ」にした場合は、拡大レンズがクリックアシストと重なると、再表示が繰り返されて、画面がちらつくことや、正しく動作しなくなることがありますのであらかじめご了承ください。

他の拡大ソフトを利用する場合も、上記と同様の現象が起きる可能性がありますのであらかじめご確認ください。

#### ・常に画面の最前面に表示させるようなアプリケーション

常に画面の最前面に表示させるようなアプリケーション（オペレートナビなど）を併用する場合、そのアプリケーションの表示とクリックアシストの操作パネルの表示が重なると、どちらも再表示が繰り返されて、画面がちらつくことや、正しく動作しなくなることがありますので、表示が重ならないよう調整してください。また、表示が重ならないよう調整しても、正しく動作しなくなる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

#### ・マウスキー機能

Windows のマウスキーと一緒に利用する場合は、マウスが一定時間留まると自動でクリックされることに留意してご利用ください。マウスキーと一緒に利用する場合は、サブパネルモードを利用することをお勧めします。

他のマウス支援アプリケーションやジョイスティック支援アプリケーションなどと併用する場合、お互いの機能が競合するなどして正しく利用できないことがありますので、あらかじめご確認ください。

#### ・ナレーター（読み上げソフト）

Windows のナレーターと併用する場合は、クリックアシストの操作パネルの下に表示されている部分は正しく読み上げない場合や、強調表示が表示できないことがあります。その場合は読み上げたい場所には、クリックアシストを表示しないようにしてください。

他の読み上げソフトを利用する場合も、同様の現象が起きる可能性がありますのであらかじめ

はじめご確認ください。

## ・その他の注意点

対応の Windows において、Windows Update で、最新の状態になっていない場合や、正しくインストールされていない場合は、操作パネルが最前面に表示されない場合があります。

他のアプリケーションが重い処理を実行しているなど、CPU の処理能力に余力がない場合、クリックのタイミングがずれたり、クリック音が遅れて聞こえたりする場合があります。

一部のアンチウイルスソフトでは、クリックアシストをウイルスであると誤検知することがあります。その場合は利用しているアンチウイルスソフトの設定を行い、検知対象から除外する等の設定を行ってください。

リモートデスクトップ、バーチャル PC、バーチャルボックス等、特殊なウィンドウに対しては、クリック操作が正しくできない場合があります。

クリックアシストは、タッチパネルでのタッチ操作をマウスの移動と認識します。タッチパネルでタッチ操作を利用する場合は、クリックアシストを一時停止した状態でご利用ください。意図しないクリックの発生を抑えることができます。

「待機時間の表示」「有効範囲の表示」「マウスカーソル強調」の表示を有効にしている場合、Windows の動作状況によっては、タスクリストやタスクビューに、「待機時間の表示」「有効範囲の表示」「マウスカーソル強調」の各ウィンドウの選択項目が表示される場合があります。リストに表示されることやそれを選択しても特に問題はありませんので、そのままご利用ください。

無料版の状態では、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックして表示される確認ダイアログについて「今後このダイアログは表示しない」にチェックを入れると、操作パネルのグレーアウトしている部分をクリックしても何も反応しなくなります。再びこのダイアログを表示するには、設定ダイアログで「初期値に戻す」ボタンを押して OK ボタンを押してください。

## ・ Windows の各バージョンにおける注意点

Windows 共通	いずれの Windows においても、Windows Update 等で最新の状態になっていることを確認してください。
Windows7	ログオン画面、ユーザーアカウント制御画面等のセキュアデスクトップでの動作には対応していません。 コンピュータの簡単操作センターで、手動で起動設定した場合でも、動作保証の対象外ですのであらかじめご了承ください。
Windows8.1	起動設定でログオン時とログオン後の両方を設定している場合でも、サインアウト時の特定の状況（サインアウト阻止アプリ一覧からデスクトップへ復帰した場合など）では、Windows の仕様上、クリックアシストが自動起動しない場合がありますのであらかじめご注意ください。
Windows10	起動設定でログオン時とログオン後の両方を設定している場合でも、特定の状況下では Windows の仕様上、クリックアシストが自動起動しない場合がありますのであらかじめご注意ください。 メインパネルの周辺の数ピクセルは反応しません。この部分は、メイン操作パネルのウィンドウ境界線（枠）の一部として透明の枠があると、Windows によって認識されているためです。

## ■ 20. ソフトウェアの更新履歴

### 2018年5月21日 (v2.1.1)

- 軽微な修正を行いました。

### 2018年5月15日 (v2.1.0)

- かな50音配列オンスクリーンキーボード機能が追加されました。日本語を直観的に入力できます。
- 「簡単設定」パネルが追加されました。主な設定を簡単に設定することができます。
- ライセンス登録の画面と手順が変更になりました（すでに登録済みの場合はそのままご利用いただけます）。
- その他、軽微な修正をしました。

### 2018年1月9日 (v2.0.0)

- 新機能
  - 「サブパネル」の機能を追加しました。クリックしたい位置に移動してからクリック動作を選択することができます。
  - パネルの配色切替機能を追加しました。パネルの配色を配色リストから、ご自身の気分や季節に合わせて、選択することができます。
  - Zono 用のマウス位置リセット機能を追加しました。クリックアシストの設定でこの機能を ON にすると、一定の操作で Zono の基準位置を合わせ直すことができます。
  - 10 分お試し機能を追加しました。無料版でお使いの方向けに、有料版の機能を 10 分間ほど、お試しください。
- 修正
  - 設定画面を機能ごとに「タブ表示」で整理し、設定内容が確認しやすくなりました。
  - Windows 標準オンスクリーンキーボードを閉じる場合は、終了せずに最小化するようにしました。これは、Windows 再起動後にオンスクリーンキーボードが自動で表示されない問題を回避するための変更です。
  - クリックまでの待機時間を 0.5 秒未満、および 3.0 以上の設定項目を追加しました。ご利用の場面に応じて柔軟に設定いただけます。（なお、0.5 秒未満を設定した場合は意図しないクリックが発生することが予想されますのでご注意ください）

### 2017年4月19日 (v1.5.0)

- 有料版をリリースしました。
- 有料版で利用できる追加機能：左ドラッグ、右ドラッグ、ホイール上、ホイール下、連続操作モード

### 2017年2月1日 (v1.0.0)

- 無料版をリリースしました。
- 利用できる機能：左クリック、右クリック、左ダブルクリック、Windows 標準オンスクリーンキーボード表示、一時停止、基本設定

以上





=====

※会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

※URL アドレス等は、予告なく変更されることがあります。

2017/4/14 作成

2018/5/21 改定

© 2017-2018 Technotools Corporation

テクノツール株式会社